





ふりがな 氏名	かわい ますみ	都道府県	山形県	
	川合 真澄			
所属/肩書	九里学園高等学校 / 教諭			
私のESD活動	高校生や地域の人々に対し、国際交流・国際理解を学ぶ場を提供している。			
関心・活動のSDGs				

## 活動の概要

本校では SGH アソシエイト校として、様々な国際的な活動を行っている。本校グローバルラーニングという授業では、世界の状況や問題を、ワークショップやアクティブラーニング形式で学び、考え、気づかせる授業を行っている。そして、世界の出来事を自分事として捉え、自分たちが地域でできることを考え、アクションプランを立て、実際に行ったりもしている。

また、地球塾という一泊二日の合宿も行っている。地元の留学生と本校の生徒が二日間を通して、あるテーマに沿って世界について学ぶものである。普段関わりのない留学生が参加することで、日本人の考えだけではなく、外国人の考えを聞き知ることで、自分の視野も広げることができる。また、英語が日常言語となり、より言語の必要性を感じることができる。今年度のテーマとしてSDGsを取り上げ、各国の問題への取り組みと比較しながら、共通の目標を立てるようなワークショップを行なった。

また、私自身、青年海外協力隊として二年間モロッコで活動した。モロッコ人の99%がイスラム教であり、イスラム教の文化や信仰心、考え方に触れ、私の考え方に誤解があったと感じた。帰国後、イスラム教の文化を伝え、誤解を解き、国際交流を目的とする団体を立ち上げた。国際交流会を催し、ハラル料理を参加者全員で作りながら、ハラルとは何か、イスラム教のお祈りの作法とは、などの学びをムスリムの方々から直接話を聞き、参加者と共有している。

・「九里学園高等学校 国際理解教育」 <http://kunori-h.ed.jp/global/>

・「Tigmi」 <https://www.facebook.com/tigmi.muslim.friendly/>

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

グローバル教育において、SDGs を念頭に置いて指導しているが、教育分野、国際協力、平和教育など自分が経験し、学んできたことは具体的に教えられるが、それ以外の分野に関しては知識が足りず、偏りのある学びになっているように感じる。そのため、何かに特化せず、総合的な知識を得ることで、SDGs を中心とした包括的な指導を行いたい。SDGs を中心とした学びで大事なことは、“継続性”であると思う。世界の状況や問題を学び、自分の胃の周りの状況や問題に目を向ける。そして、それに対して自分ができることを考えなければならない。その時、「途上国に行って支援する」「学校を建てる」など、継続性がなく、今の自分にできること以上のアクションプランを考えてしまう。私自身広い視野で物事を捉え、子供達には自分の地域で、小さなことでも、“自分ができること”を考えさせたい。そして、子供達が何をしたいか、何をすべきかを考え、行動していけば、私たちの住む町が少しずつ良い方向に向かうのではないだろうか。その小さな一歩が、世界平和への一歩になれば良いと思っている。